

2024年度 ニチキッズ佐沼なかえ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月14日（火）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月28日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念を元に、子ども一人ひとりの思いに寄り添った保育を心がけた。子どもの気持ちをしっかりと受け止め、子どもたちがのびのびと過ごせる保育環境作りをしていくようにした。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの家庭環境や発達を職員と共有し、共通理解を図りながら関わる事ができた。
保護者に対する支援	送迎時に園での様子を日々、丁寧に伝えるようにしたことで保護者との信頼関係を築くことができた。又、家庭との連携を図りながら寄り添った支援を行う事ができた。
保育を支える組織的基盤	情報共有を密に行いながら、各職員が責任をもって保育を進めていくことができた。

総評
職員間の情報共有をしっかりと行い、一人一人の個性を把握しながら丁寧に保育を行ったことで、子ども達が自信をもち、のびのびと過ごす姿が見られていた。又、職員の資質向上のため、積極的に研修に参加し専門知識の向上を図るようにした。食育活動ではプランターでの栽培を通して、子ども達の食への関心が高まった。他、近隣の介護施設でのじゃが芋掘りの体験や敬老の日のプレゼント、警察署への訪問を行い、地域との交流の場を設けることにより人と繋がる喜びを体験できるようにした。日々、保護者とのコミュニケーションを大切にしながら家庭との連携を図り、安心して預けられるように心がけ、子どもを中心とした支援に努めていった。今後も継続していきたい。